



Title	庄垣内正弘教授業績目録
Author(s)	
Citation	内陸アジア言語の研究. 2002, 17, p. 241-246
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/17362
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

庄垣内正弘教授 業績目録

1966

1. 「モンゴル・パンチャタントラ物語」『朔風』3, 朔風会, 大阪外国語大学モンゴル語研究室, pp. 53-59.

1968

2. 「モンゴル語に於ける逆接文を導く接尾辞の分化に就いて」『朔風』4, 朔風会, 大阪外国語大学モンゴル語研究室, pp. 161-173.

1974

3. 「ウイグル語写本・大英博物館蔵 Or. 8212(109) について」『東洋学報』56-1, 東洋文庫, pp. 044-057.

1975

4. 「竹内和夫著『トルコ語文法入門』」(書評)『季刊人類学』6-2, 京都大学人類学研究会, pp. 224-227.

1976

5. 「ウイグル語写本・大英博物館蔵 Or. 8212-108 について」『東洋学報』57-1/2, 東洋文庫, pp. 017-035.
6. 「ウイグル語写本・‘観音経相応’—観音経に関する‘avadāna’—」『東洋学報』58-1/2, 東洋文庫, pp. 01-037.

1978

7. 「‘古代ウイグル語’におけるインド来源借用語彙の導入経路について」『アジア・アフリカ言語文化研究』15, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, pp. 79-110.
8. 「クラウス・レールボーン著『ウイグル語辞典』」(書評)『窓』78-12, ナウカ, pp. 58-59.
9. 「ウイグル語研究の現状」『月刊言語』7-7, 大修館書店, pp. 63-64.

1979

10. 「『五体清文鑑』18世紀新ウイグル語の性格について」『言語研究』75, 日本言語学会, pp.31-53.
11. 「中村不折氏旧蔵ウイグル語文書断片の研究」『東洋学報』61-1, 東洋文庫, pp. 01-029.
12. 「ソグド語文献について」『月刊シルクロード』'79-2/3, 株式会社シルクロード, pp. 30-33.

1980

13. 「ウイグル語文献・『阿含経』抜粋仏典について」『神戸外大論叢』31-1, 神戸市外国語大学研究所, pp. 1-22+9.
14. 「ウイグル語仏典について」『続シルクロードと仏教文化』東洋哲学研究所, pp. 249-282.
15. 「西田龍雄著『西夏文字』一解説のプロセス(玉川大学出版部)」(書評)『月刊シルクロード』'80-4, 株式会社シルクロード, p. 34.

1981

16. “Ein uigurisches Fragment eines Beichttextes”, *Beiträge zur Turkologie und Zentralasienkunde*, Wiesbaden, pp. 163-168+1.
17. 「日本語とアルタイ諸語」(R. A. ミラー著 西田龍雄監訳 近藤達夫・庄垣内正弘・橋本勝・樋口康一訳), 大修館書店, 399p.
18. 「ウイグル文『中阿含経』断片四葉について」『神戸外大論叢』32-1, 神戸市外国語大学研究会, pp. 87-105.

1982

19. 「ウイグル語・ウイグル語文献の研究」I, 神戸市外国語大学外国語研究所(研究叢書第12冊), 215p+14.
20. 「古代トルコ語 n 方言における i / i の低母音化について」『神戸外大論叢』33-3, 神戸市外国語大学研究会, pp. 39-57.
21. 「『畏兀児館訳語』チュルク語の性格について」『神戸外大論叢』33-5, 神戸市外国語大学研究会, pp. 21-37.

1983

22. 「ヤクート語」『月刊言語』12-11, 大修館書店, pp. 80-86.

1984

23. 「『畏兀児館訳語』の研究—明代ウイグル口語の再構—」『内陸アジア言語の研究』1 (1983), 神戸市外国語大学外国学研究所, pp. 51-172.
24. 「シルクロード事典」<辞書のたのしみ>『月刊言語』13-1, 大修館書店, pp. 142-143.
25. 「ウイグル仏典について」『歴史公論』105, 雄山閣, pp. 43-51.

1985

26. 「ウイグル語・ウイグル語文献の研究」II, 神戸市外国語大学外国学研究所 (研究叢書第15冊), 148p.
27. 「十一世紀のチュルク語辞典」『月刊言語』14-6, 大修館書店, pp. 5-7.

1987

28. 「ウイグル文献に導入された漢語に関する研究」『内陸アジア言語の研究』2 (1986), 神戸市外国語大学外国学研究所, pp. 17-156.
29. 「ヤクート」『月刊言語』16-10, 大修館書店, pp. 50-55.

1988

30. “Drei zum Avalokiteśvara-sūtra passende Avadānas”, *Der türkische Buddhismus in der japanischen Forschung*, Wiesbaden, pp. 56-99+13.
31. 「ウイグル文『阿毘達磨順正理論』—大英図書館所蔵 Or. 8212-75 B から」『内陸アジア言語の研究』3 (1987), 神戸市外国語大学外国学研究所, pp. 159-207.
32. 「古代ウイグル語」『月刊言語』17-8, 大修館書店, p. 38.
33. 「シルクロード事典」『事典の小百科』(紀田順一郎・千野栄一編), 大修館書店, pp. 282-284.
34. 「アルタイ語」pp. 524-528; 「ウイグル語」pp. 738-741; 「ウズベク語」pp. 829-833; 「カザフ語」pp. 1147-1151; 「カラガス語」pp. 1271-1273; 「カラカルパク語」pp. 1273-1276; 「キルギス語」pp. 1416-1422, 『言語学大辞典』1 世界言語編(上), 三省堂.

1989

35. 「ウイグル語・ウイグル語文献の研究」III, 神戸市外国語大学外国学研究所 (研究叢書第19冊), 177p.
36. 「中国のチュルク諸語」『月刊言語』18-7, 大修館書店, pp. 80-85.
37. 「サラル語」pp. 94-98; 「サリグ・ヨグル語」pp. 99-102; 「シヨル語」pp. 257-260; 「新ウイグル語」pp. 282-288; 「チュヴァシ語」pp. 869-875; 「チュリム・チュ

ルク語」pp. 934-937; 「チュルク諸語」pp. 937-950; 「トゥヴァ語」pp. 1222-1225,
『言語学大辞典』2 世界言語編(中), 三省堂.

1990

38. 「ウイグル語・ウイグル語文献の研究」IV, 神戸市外国語大学外国学研究所(外国学
学研究 XX), 131p.
39. 「モンゴル語仏典中のウイグル語仏教用語について」『アジアの諸語と一般言語学』
(崎山理・佐藤昭裕編), 三省堂, pp. 157-175.

1991

40. 「古代ウイグル文阿毘達磨俱舍論実義疏の研究」I, 松香堂, 344p.
41. "On Uighur elements in Buddhist Mongolian Text", *Memoirs of the Research
Department of The Toyo Bunko* 49, Toyo Bunko, pp. 27-49.
42. 「ウイグル文『阿毘達磨俱舍論実義疏』の性格について」『西南アジア研究』34, 西
南アジア研究会, pp. 33-42.
43. 「ウイグル語」『月刊言語』20-5, 大修館書店, pp. 36-37.
44. 「キルギス語」『世界のことば』朝日選書 436, 朝日新聞社, pp. 178-179.

1992

45. 「ノガイ語」pp. 46-48; 「ハカス語」pp. 98-101, 『言語学大辞典』4 世界言語編
(下-1), 三省堂.
46. 「ヤクート語」『言語学大辞典』4 世界言語編(下-2), 三省堂, pp. 544-550.

1993

47. 「古代ウイグル文阿毘達磨俱舍論実義疏の研究」II, 松香堂, 414p.
48. 「古代ウイグル文阿毘達磨俱舍論実義疏の研究」III, 松香堂, 35p+466.
49. 「ウイグル語」pp. 58-61; 「キルギス語」pp. 158-161, 『世界のことば小事典』(柴田
武編), 大修館書店.
49. 「エイヌ語」『言語学大辞典』5 補遺・言語名索引編, 三省堂, pp. 42-43.

1994

50. 「山田信夫著 小田壽典・P. ツィーメ・梅村坦・森安孝夫編『ウイグル文契約文
書集成』」(書評)『東洋史研究』53-2, 東洋史研究会, pp. 139-148.

1995

51. 「ウイグル文字音写された漢語仏典断片について－ウイグル漢字音の研究－」『言語学研究』14, 京都大学言語学研究会, pp. 65-153+9.
52. 「ウイグル文『菩薩修行道』－Pellicot Ouigour 4521 から－」『アジア言語学論叢』神戸市外国語大学外国学研究所, pp. 33-74+20.
53. 「ウイグル文『サダープラルディタ菩薩とダルモードガタ菩薩の物語』の内容構成について(1)」『神戸外大論叢』46-3, 神戸市外国語大学研究会, pp. 1-18.
54. 「ウイグル文『サダープラルディタ菩薩とダルモードガタ菩薩の物語』の内容構成について(2)」『神戸外大論叢』46-5, 神戸市外国語大学研究会, pp. 1-12.
55. 「シルクロード<古ウイグル>のことわざ」『世界ことわざ大事典』(柴田武他編), 大修館書店, pp. 1112-1117.

1996

56. “On the Contents of the Uighur Version of the Abhidharmakośabhāṣya-ṭīkā Tattvārthā”, *Turfan, Khotan und Dunhuang*, Akademie Verlag GmbH, Berlin, pp. 293-306.
57. 「漢字文化圏西端にも存在した『漢文訓読』」『月刊言語』25-8, 大修館書店, pp. 37-45.
58. 「古代ウイグル語」『外国語がわかる』Aera Mook 14, 朝日新聞社, pp. 110-113.

1997

60. 「ウイグル文字音写された漢語仏典断片について－ウイグル漢字音の研究－(続)」『西南アジア研究』46, 西南アジア研究会, pp. 1-30+3.
61. 「突厥文字－古代ウイグル人世界に普及した文字－」『月刊しにか』8-6, 大修館書店, pp. 54-59.

1998

62. 「ウイグル文 Daśakarmapathāvadānamālā の研究」(Shōgaito, M/Tugusheva, L/Fujishiro, S), 松香堂, 293p+84.
63. “Three fragments of Uighur Āgama”, *Bahşi Ögdisi, Festschrift für Klaus Röhrborn anlässlich seines 60. Geburtstags*, Freiburg-İstanbul, pp. 363-378+4.
64. 「羽田亨とウイグル語文献の研究」『古代文化』50-8, 古代学協会, pp. 49-54.

1999

65. 「ロシア所蔵ウイグル語断片の研究 1. 『増一阿含経』」『言語学研究』17-18, 京都大学言語学研究会, pp. 93-122+9.
66. "On the Ming Dynasty Central Asian Turkic Language Transcribed in the Chinese Character", *Issues in Turkic Languages*, Kyoto University, pp. 235-250.
67. "The use of Chinese Characters in Uighur", *The Silk Roads Nara International Symposium '97*, pp. 73-79.

2000

68. 「ロシア所蔵ウイグル語断片の研究 2. 『阿含経』『千字文』『阿毘達磨俱舍論実義疏』」『京都大学言語学研究』19, 京都大学大学院文学研究科言語学研究室, pp. 147-191+6.

2001

69. 「ロシア所蔵ウイグル語断片の研究 3」『京都大学言語学研究』20, 京都大学大学院文学研究科言語学研究室, pp. 243-277+5.
70. 「中央ユーラシアの言語接触ーチュルク語の場合ー」*EX ORIENTE* 6, 大阪外国語大学, pp. 1-50.
71. "Four Uyghur fragments of *Qian-zi-wen* 'Thousand Character Essay'", *Turkic Languages*, 5-1, Wiesbaden, pp. 1-28+4. (Masahiro Shōgaito/Abdurishid Yakup)
72. 「ウイグルにおける漢文訓読」『漢文古版本とその受容(訓読)』国際ワークショップ「東アジア出版文化の研究」, pp. 142-165.
73. "Uighur fragments of *Nidāna-sūtra*", *Issues in Eurasian Languages* 1, CSEL Series 5, pp. 119-125.
74. 「ウイグル文字」pp. 118-121; 「突厥文字」pp. 671-675, 『言語学大辞典』(別巻) 世界文字辞典, 三省堂.

2002

75. 「板橋義三「アルタイ諸言語(含朝鮮語)と日本語」に対するコメント」『言語研究』121, 日本言語学会, pp. 112-121.